



直方

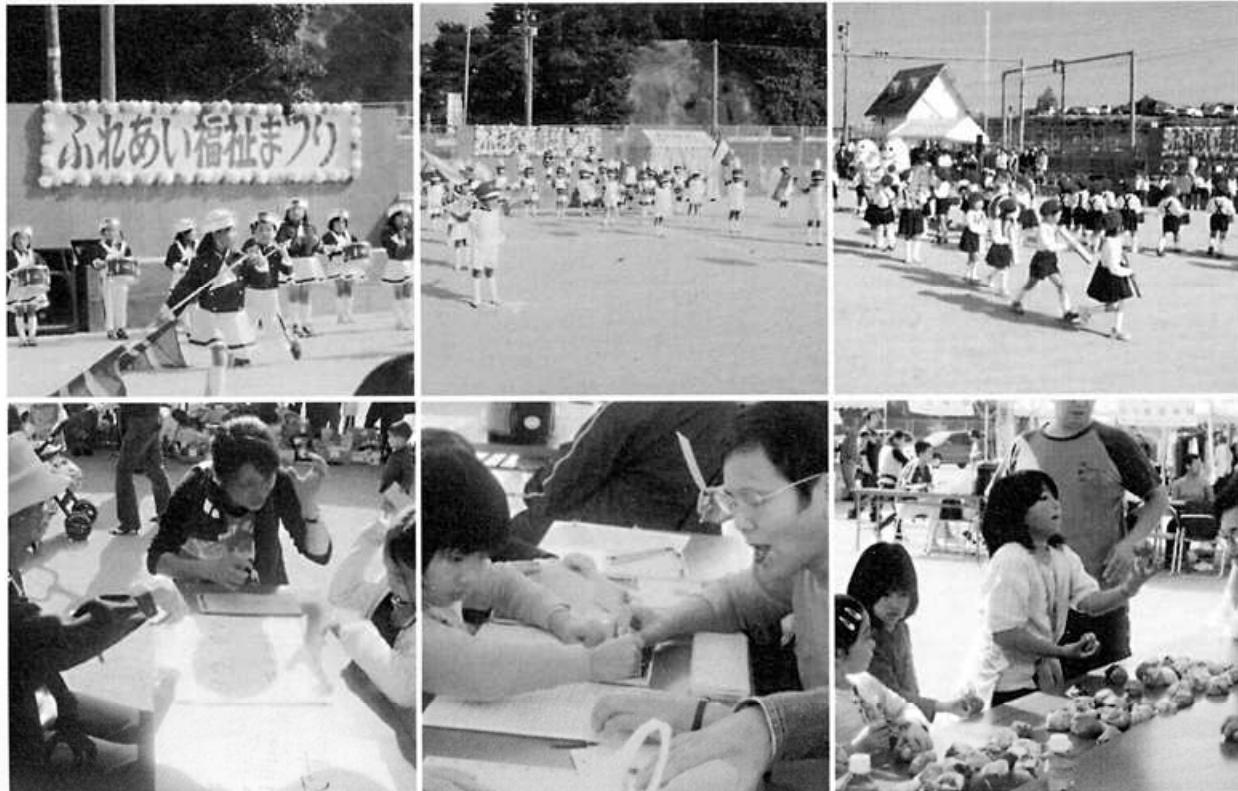
# 社協だより

## 少數者

第139号

2007・12・1

編集・発行：社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 直方市山部側筒谷 616-145 TEL 23-2551 FAX 23-2552



**地域の力、世代も超えて！**

### 平成19年度福祉まつり

福祉まつりには、「ふれあい」「笑顔」があふれている。そこには地域一人ひとりの力が、大きな力となっている。一人ひとりの力が發揮できる場所が増えれば、直方市はもっとよくなる。そんな願いが福祉まつりにあるのでは……。

今年も恒例の福祉まつりが盛大に開催された。前日の会場づくり、当日の運営には、ボランティアグループ・老人会・民生委員・社会福祉協議会・施設関係者・高校生など多くの人が積極的に関わり、すばらしい会場が設営された。当時は、開会式前から続々と来場者があり、幼稚園児のかわいい鼓笛隊合奏、音楽体操、手話コーラス、カラオケ、腹に響きわたる太鼓の演奏に盛りだな拍手が続き、物まね名人ショーやには大笑いした。

健常者と障害者が一体となつた有意義なまつりなのだが、福祉まつりと言えば、障害者の為だけのものと思っている人も多いようだ。健常者と障害者は誰しも逃れられない何らかの障害を持つようになるのは、まだ多くの人に從事する、まだまだ多くの人に参加して欲しいものである。

(嶋田)

人間と動物の違いはハンドルを持ったものに対する思いやりの心を持っているかどうかだと思う。

**カンテラ**

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

## 福祉のまちづくりへ 社協からの発信

## ☆昨今の社会福祉関連情勢

三位一体改革や歳出、歳入改革等が実行され、地方においては、かつてない厳しい行財政面における改革が断行されています。わが直方市においても、例外ではなく、その波及、影響は、当社協においても顕著に表れしており、これまで以上に、ビジョンを明確にし、厳しい自立的な経営を行うことが求められているところです。

こうした中、少子高齢化を背景に社会福祉基礎構造改革の流れは、利用者本位、自立生活支援の潮流となつて、これまでも以上に地域に根ざした福祉活動（地域における高齢者、障害児者の生きがい、ふれあい、支えあいなどへの支援や健康づくり、子育て支援の取り組み等）への関わりを求めています。また、今秋、国（厚労省）においては「社会福祉の公的な制度で力バーしきれない生活問題を解決するための地域福祉の再構築」に向け、「これから地域福祉のあり方」に関する研究会が立ち上げられ、今後における「地域社会で支援を求めている者に住民が気づき、住民相互で支援活動を行う等の地域住民のつながりを再構築し、支えあう体制を実現するための方策」が、今年度末を目途に、まとめられ、示されようとしています。

私ども地域福祉に携わる者としても、今後、当然、経営・運営面あるいは事業の展開時のことごとくすべく、発信される情報を注意深く見守り、対処していきたいと思つて いるところです。

最近の内外における社会情勢変化のスピードは社会福祉をめぐる一連の激変状況でもご承知のとおりです。私どもとしても、これらのこととの的確に把握しながら、迅速対応をモッ

トニーに、その時々の局面を乗り切っていけるしつかりしたビジョンを持つ必要性を痛感する次第です。

現在、本会においては、悪化した経営改善対策に着手中ですが、今年度、実施中の諸事業については、やれることから優先順位をつけて実行し、しかも従来よりも更に創意工夫を加えながらの対応です。社協だより12月号が発刊される頃には、財源不足が顕著な総合福祉センターについての運営面における改善のための工夫案も役員会等で審議される状況になつてゐると思ひます。

去る7月17日の評議員会で理事の選任が行われ、新理事会が7月23日に行われました。

平成19年7月23日  
平成21年7月22日

直方市社会福選  
協議会役員改選

▽直方市社会福祉  
局議会下判



共同募金  
赤い羽根募金

運動期間

10月1日～12月31日

団地は65歳以上の人々が、47%と約半数を占め、若い人は就労している人が多く、その手を期待する事は難しくなっています。また、お助けの中での金銭の授受は一切行わない約束になつております。お助けの必要性の判断は、区長や隊員に集つて頂き、検討の上判断されています。

高齢者の切実な声が聞えてき  
ます。その声に耳を澄まし、  
しっかりと受けとめて下さつ  
た王子団地の田中さん、これ  
は何とかしなければと立上り、  
身近な手段として各町内に回  
覧板を廻されたところ、その  
暖かい思いに賛同された各組  
の会員が次々に名乗りをあげ  
られ、平成17年9月、有志20  
数名で、その名も、"お助け  
隊"として誕生しました。私  
はその団地の中でインタビュ  
ーさせて頂きました。

「お助け隊」

◇ 地域活動紹介 ◇

知的障がい者青年  
学級を支える会

代表 橋本由美子

学校を卒業して地域で暮らす障がいのある人たちの余暇活動、学習の場として「直方市青年学級」が活動を始めています。現在、50名ほどの知的障がいのある当事者が学級生として登録し、月1回の日曜日、奇数月に余暇を楽しむ活動、偶数月にそのための話し合いや学習の活動を行っています。

「自分たちは自分たちで決める」を合言葉に、自分たちの生活を豊かにすることや権利を高めるための話し合いも行っています。知的障がい者自身の権利擁護活動である「ピープルファースト」の全国大会にも、毎年参加しており、各地の当事者の活動と交流しています。

私たち「支える会」はこの青年学級の活動に直接参加しながら支援する活動と、資金や人集めでバックアップする活動をしています。現在、そのどちらかの一方でも活動していただける方を募集しています。興味のある方は経験を

問わずいっしょにいかがですか。

紹介8

直方市ボランティア連絡協議会青年部  
代表 久保直幸

「ボラ連青年部」は、障害者・健常者など、様々な方が活動されています。

月1回の定例会を実施しながら、何をするのか話し合いをしています。夏には、レクリエーションの活動で、交流を深めたりしています。

社協の行事にも参加して、それをきっかけに、レクリエーションに向けての企画を考えながら、一つ一つ取り組んでいます。

また、冬には忘年会を行い1年の総まとめとしている事で、毎年恒例である行事として、にぎやかに楽しむ事が出来ます。

基本的には、若者向けのボランティアグループですが、世代別に関係なく、色々な会員が所属しています。未熟な所もありますが、興味のある方は、気軽に申し出て頂ければ、いつでも受付けています

著者は自身で介護地獄を経験、介護は体力勝負であると実感し、介護はプロに、家族は愛情をと、取り組む過程で旧弊墨守の官僚的発想に悩まされて、血の通つた行政への願いを前著「母に纏褓むつかきをあてるとき」で発表。社会に問題提起をし、大きな反響をもたらした。

遠距離介護5年後の後、母を失ったが、その間介護保険法の実施もあり、基本的に大きな変化が押し寄せている。

長寿の喜びには必然的に介護量の増大、財源・施設不足による介護難民・介護の質低下、業者の不正等新たな問題も発生している今の時点でのこの統編を発表し、法廷に持ち込むまでにこじれた家族・介護を受ける側の心・地域とのつながりについて、今後対応する人に対して、自分の行つたあやまちを繰り返さないでくださいとの願いを述べている。

圖書室

痴呆の母を  
看取つて

著者発行所  
栗山外添  
要稿製成社  
出版社校



## 歳末たすけあい募金

## 運動期間

12月1日～12月31日

電話  
(0949)  
ファックス  
(0949)  
2216088  
2517010

「利用者証」の発行は障害者相談支援センターの一つである、または同敷地内にある各施設にて受け付けておりますので、お気軽に問い合わせください。

障害者相談支援センター  
る一ふる前身体障害者用駐車  
スペースについて

障害者相談支援  
センターるーふる  
からのお知らせ

## 移動送迎支援事業運転士募集

資 格／次のいずれか

- ① 普通自動車二種免許所持者。
  - ② 普通自動車免許を所有する  
21歳以上の者であって移送  
サービス講習を受講した者。

活動時間／8時30分～17時の中  
で、利用者の利用時間。

賃金／1時間あたり 800円  
人數／若干名

【応募】 詳細等はお気軽にお電話下さい。



直方市社会福祉協議会  
電話(0949)23-2551

# 社協の登録ヘルパーとして 働いて見ませんか!



直方市社会福祉協議会  
ホームヘルプサービス  
担当 鍋田・立石  
電話 (0949) 29-508

## おもちゃ図書館 運営ボランティア募集

## 田曜出会いの広場 「もわづまつめい」開催

日時　平成19年12月16日(日)  
会場　総合福祉センター  
駐車場  
参加希望者連絡先  
直方市社会福祉協議会  
電話(0949)23-125551

ご寄付ありがとうございます

2007. 6.15 ~ 2007.10.30  
(承諾された方のみ掲載 故称略)

— 三曲返 —

ご住所	芳名
新境地	光柳西田
上赤殿	惠公信節
上	子一行子
入地町	貞青増藤

載せきれない程でした。改めて一人ひとりの力が大きなものを作っていくと、実感させられました。

三也子	雄子	雄喜	久苗	毅	三美	生子	子
彰和ア	幸ア	サ					
長田太	中田守	駒佐植	大	小立	西坂松		
野入寺	町泉町	入部木境	部市	田野境			
頓新満		新		若			
上上永	新中新上山植	下山宮感	頓下				
入堀	境	町町方木田野境					
在伏	伏須末坂山蓑本寒真横						
田見	見井永井本原松竹武沼						
静玲	憲茂博恵	佐誠輝ア清					
下溝							
新							
下							
遠須直植感頓下							
れ多い	0人	福井	に足りない	みな			
あい							

編集後記

—般寄付—

ご住所	芳名
頓野	直鞍民商